



恐竜研究の本場カナダで学んだ『恐竜くん』。「どうして恐竜が好きになったか」から始まり、「最新の恐竜研究」まで、たくさんのお話満載の講演となりました！



大正琴体験



乙女湖体育館いっぱい作品が溢れます(作品展示)

『作品展示』

作品展示は、主会場となる体育館とそこへ向かう廊下で行われました。

体育館へ向かう廊下には、女性学級の皆さんの作品『ガムテープバッグ』と小諸市日中友好協会の活動の様子を取めた写真パネルが展示されていました。私はカラフルなバッグが、ガムテープで作られていることに驚くと同時に、テープの配色の違いで色鮮やかな作品を拝見することができ目を楽しませてもらいました。

体育館では、素晴らしい力作揃いの作品に、芸術的センスのない私は感心するばかりでした。陶芸作品や洋裁・編み物等の手作りの作品では、売り物ではないのか？と思ってしまう作品も多数ありました。

盆栽や蘭の花なども、時間と手間をかけて仕上げている様子がうかがえました。

時間と手間と愛情を込めて仕上げた作品にはそれぞれの思いがあり、作った方々の宝物になっているのではないかと感じました。

編集委員 山中 祐子



『恐竜くんのワークショップ&トークショー』

「恐竜くん」子ども達の呼びかけで恐竜くん登場。

ワークショップでは翼竜について学んだ後、発泡スチロールペーパーで翼竜を作りました。

翼竜の形を写し切り抜きます。そのしっぽの当たりをつまみ、腕を伸ばしたところからそっと手を離します。すぐに落ちてしまい残念がる子、ゆっくりと舞い落ち得意げな子。子ども達は楽しい時間が過ごせたと思います。定員30名のところ子ども達36名と家族が参加し盛況でした。

トークショーではステージ中央にスクリーンが置かれ、恐竜くんが描いた恐竜のイラストや化石の発掘現場等の映像を映しながら話しが進みます。

恐竜くんからの質問に知っている恐竜の名前を元気に答える子ども達。

後半では子ども達から「恐竜は何を食べていたの?」「日本でも恐竜の化石は発見される?」「恐竜くんの行った国はどこ?」等たくさん質問があり、恐竜くんの回答に興味深く聞き入っていました。

最後に「皆も何か一つ自分の好きなことを見つけて、一生懸命取り組んでください。」とのメッセージがあり、子ども達の心に残ってほしいと思えました。

編集委員 遠山 厚子



『ホール発表 2日目』

2日目のホール発表は、大正琴、フラダンス、演劇、舞踊、HIPHOPダンスなど、全部で14団体の皆さんの発表が行われました。

長年出演されている各グループは、文化センターや地区の公民館で日々の練習をされています。毎年見ている方から「皆さん、年々上手になられています。演奏は良い音がでているし、フラダンスは鮮やかな衣装でとてもよかったです」という感想も聞かれました。ダンスの発表が多かった2日目は、目を引く衣装を纏った多くの演者さんで、とても賑やかな舞台発表となりました。

そんな中で、少し毛色の違った発表もありました。それは『小諸東中学校演劇部』。

秋口は、部としては多くの行事があり忙しいようですが「機会があれば出場したい!」という想いで、昨年度から2回目の参加。出演者は1、2年生のみで、台本は2年生松田さんによるオリジナル。会話劇に思わず見入ってしまいます。来年も多くの皆様に楽しんでいただければと思います。

編集事務局 塩川 弘太郎

